

氏 名	森倉 一郎
学 位 の 種 類	博士 (医学)
学 位 記 番 号	乙第302号
学位授与年月日	平成26年6月4日
審 査 委 員	主査 教授 森田 栄伸
	副査 教授 原田 守
	副査 教授 熊倉 俊一

論文審査の結果の要旨

申請者は、アレルギー性鼻炎に対する漢方製剤千金内托散の効果を確認する目的で、マウスの培養細胞、および卵白アルブミン (Ovalbumin : OVA) を抗原としたマウスアレルギー性鼻炎モデルを用いて千金内托散投与の影響を検討した。マウスマクロファージRaw264.7細胞及び千金内托散を経口投与したマウスの腹腔マクロファージにおけるToll-like receptor 4 (TLR4) とinterleukin (IL)-12 の発現を測定した。TLR4伝達シグナルの低下したマウスC3H/HeJ及びその野生型C3H/HeNを用いて、OVA誘発アレルギー性鼻炎モデルを作製し、千金内托散投与の影響を検討した。その結果、千金内托散投与により培養細胞のTLR4の発現増強とIL-12産生亢進作用が確認された。千金内托散投与により、C3H/HeNアレルギー性鼻炎モデルでは、血清中OVA特異的IgEとIgG1、脾細胞からのIL-4産生抑制とinterferon- γ 産生亢進、鼻アレルギー症状の抑制、鼻粘膜組織のIL-5や好酸球の低下を認めたが、C3H/HeJアレルギー性鼻炎モデルでは見られなかった。以上から千金内托散はTLR4分子を介して鼻アレルギーを抑制することが示された。本研究は、漢方製剤による鼻アレルギー治療の可能性を示したものであり、臨床的意義も高く学位授与に値すると判断した。